

2023 年「キリマンジャロ登頂とンゴロンゴロ 12 日間」を 9 月 30 日～10 月 11 日に行いました。

キリマンジャロ 5895m、言わずと知れたアフリカ大陸最高峰にして七大陸最高峰の一つ。6000mに近い山ですが登山方法が確立されており 5 泊 6 日の短期間で登頂可能、さらに体力が有れば 1 日短縮する事も出来るそうです。しかし標高 5000mの酸素分圧は平地の約半分、短期決戦ゆえに高山病が発症したらその時点で登山を諦め下山をお勧めします。この度は「死んでも登るは死ぬのでしない」を合言葉に安全登山を心がけ、スワヒリ語でゆっくりの言葉「ぼれぼれ」歩きで頂上を目指しました。結果はコロナ明けの体力減にも拘らず 8 名中 6 名登頂、平均年齢 72 才、皆様お達者でした。キリマンジャロに続いて辺りに点在するサファリでゲームドライブ。今回はアルージャに近くバオバブの巨木(この時期芽吹き)に動物たちが群れるタランギレ国立公園、及び巨大なクレーター内に動物の群れが点在し 1979 年に世界遺産登録されたンゴロンゴロ保全地域の 2 か所を訪れました。まあ、言い換えれば登頂とサファリの一石二鳥のツアーです！



(キリマンジャロ頂上 5895m、10 月 6 日 7:30 分)

○キリマンジャロ登頂 I

何故か最初に大天荘周辺の写真が 2 枚。これはキリマンジャロに出発前の高度順化で、筆者の経験から 3000m近い山小屋は結構役に立ちます。さて、キリマンジャロ頂上に向け参加者の年齢・体力からアルージャに 2 泊して出発。登山ゲートで入山手続きを済ませ、マンダラハット 1 泊、続いてホロンボハット 2 泊、ギボハット 1 泊(仮眠)後、真夜中に出発し頂上へアタック。標高の差を簡単に言えばアルージャのホテル 700m、登山ゲート 1700m、マンダラハット 2700m、ホロンボハット 3700m、ギボハット 4700m、頂上 5895m。要するに高度順化で連泊するホロンボハットを除き、毎日 1000m標高を上げて行きます。一方、歩く距離は 1 日約 10Km です。



(ギボハット目指して 10 月 5 日)



(大天荘 高度順化)



(出発・アルージャのホテル前)



(登山管理事務所)



(ゼブラロック・この日は何故か雨降り)





(ホロンボハット目指して 10月5日)



(ギボハット目指して 10月5日)

○キリマンジャロ登頂Ⅱ

登頂日はギボハットを漆黒の 22 時にスタート。現地リーダーのグッディーさんの絶妙なペースでゆっくり高度を稼いで行きます。4000m以上は歩くスピードが成功率を極めて高めます。丁度セカンドピークのギルマンズポイント 5685m で朝日を迎え、最後の気力・体力を振り絞って頂上を目指しました。途中でテント泊のマチャメルートから登る人たちと合流、頂上は結構な混み合いでビックリでした。

下山は酸素を求め、昨夜泊まったギボハットでお昼をいただき、さらにホロンボハットへ向けて下るハードなスケジュール。昨夜の行動開始から既に 18 時間、標高差+1000m/-2000m、こんなに歩いたのは皆様初めてと思います。そして翌日のトレック最終日もマラングハットを通り越し、一気に麓まで下山してポーター達とトレックの打上げを行いました。



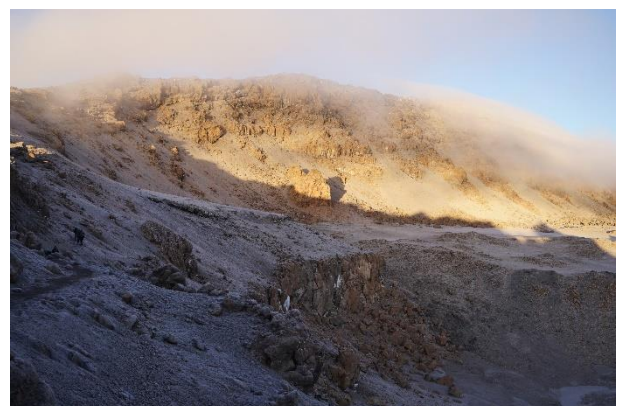
(ギルマンズポイント奥)



(頂上・筆者)



(ギルマンズポイント 5685m)



(キリマンジャロ頂上)



(ホロンボハットの朝)



(打上げ)



(ポーター達)



(ガイド達)



(下山 10 月 7 日)

○タランギレ、ンゴロンゴロサファリツアー

キリマンジャロ周辺はタンザニア国でも有数のサファリエリアです。折角ここまで来たのでサファリツアーも充実させタランギレ国立公園とンゴロンゴロ保全地域でゲームドライブを行いました。この 2 カ所の説明は紙面に書き切れないのでお手数ですがガイドブックでお調べ下さい。ゾウ、キリン、シマウマ、ムーの群れやライオンの昼寝等々。TV で見るライオンのハンティングとは程遠いのんびりした大自然の空間が広がり、その中で動物達を楽しめます。でもそこは自然界、突如襲われたガゼルが約 2m 垂直に飛び上がる現場も見ることが出来ました。



(タランギレ・アフリカ像)



(タランギレ・ライオン)



(ダチョウの卵)



(ンゴロンゴロ入園ゲート)



(サファリ滞在ホテル)



(ンゴロンゴロ・ムーの群れ)

これで 2023 年の天溪ツアーは終了です。今年はコロナ明けと言う朗報とは別に急激な円安と燃油高から皆様にはご迷惑をお掛けしました。

来年は 2 月のニュージーランドツアーからスタートします。余談ですがミルフォードトラックは既に予約で満席状態です。そんな訳で天溪もこれからお申込される皆様は残念ですがキャンセル待ちになってしまいます。申し訳御座いません。